

2019年（平成31年・令和元年）の 世界の主な異常気象・気象災害（速報）

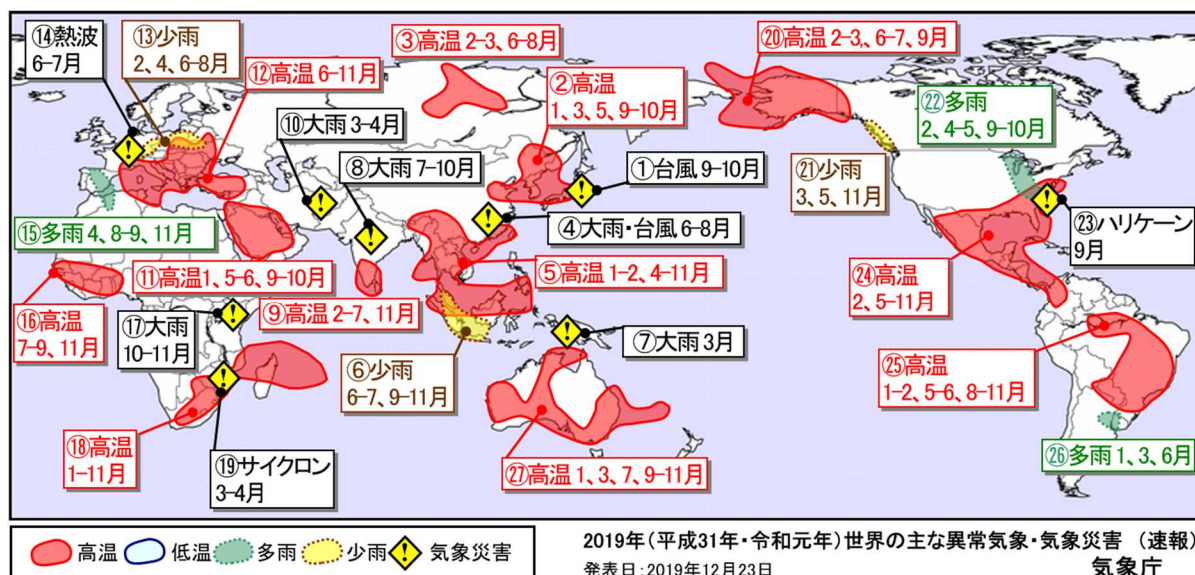


図 2019年(平成31年・令和元年)異常気象発生地域分布図(速報)

比較的大きな規模の「異常気象」及び気象が原因となって生じた大きな災害（気象災害）のおおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ◇ 異常気象:ある場所において30年に1回以下のまれな頻度¹で発生する現象をいう。本資料では月平均気温や月降水量から異常と判断した現象が1年のうち3か月以上繰り返された場合に、地理的広がりも考慮しつつ取り上げている。
- ◇ 災害情報: 米国国際開発庁海外災害援助局及びブルーベンカトリック大学災害疫学研究所（ベルギー）による災害データベース（EM-DAT）²や各国政府機関、国連、欧州委員会等の発表に基づき、人的被害や経済的損失の大きさ、地理的広がりを考慮して取り上げている。

※本資料は、12月13日までに入手した世界各国の1～11月までの観測データ及び災害情報をもとに、速報としてまとめたものです。12月までの観測データによる資料は、令和2年1月中旬に気象庁の世界の異常気象のホームページ（下記URL）で発表します。



https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/index.html

【世界の異常気象】

¹ 統計期間は1981～2010年の30年間。

² <https://www.emdat.be/>

概況

① 北日本太平洋側～東日本太平洋側の台風（9～10月）

9月の台風第15号と10月の台風第19号等により、北日本太平洋側から東日本太平洋側を中心として、河川の氾濫・決壊等の大きな被害が生じ、農林水産関係ではそれぞれ814.8億円、3,180.8億円にのぼる被害が発生した（令和元年12月5日及び12日現在、内閣府）。

② 東アジア北東部及びその周辺の高温（1、3、5、9～10月）

東アジア北東部及びその周辺では、1、3、5、9～10月に異常高温となった。中国のチーリン（吉林）省イエンチー（延吉）では1月の月平均気温が -8.8°C （平年差 $+4.2^{\circ}\text{C}$ ）、大韓民国南東部のポハン（浦項）では3月の月平均気温が 10.3°C （平年差 $+2.4^{\circ}\text{C}$ ）、大韓民国北東部のカンヌン（江陵）では5月の月平均気温が 21.0°C （平年差 $+3.4^{\circ}\text{C}$ ）、大韓民国北西部のインチョン（仁川）では9～10月の2か月平均気温が 19.7°C （平年差 $+2.0^{\circ}\text{C}$ ）、高知県の高知では10月の月平均気温が 21.9°C （平年差 $+2.6^{\circ}\text{C}$ ）だった。

韓国の5月と9月の月平均気温は、それぞれの月としては1973年以降で2番目、3番目に高かった（韓国気象局）。

沖縄・奄美の冬（2018年12月～2019年2月）の3か月平均気温は、冬としては1947年以降で最も高く、東日本、西日本の秋（9～11月）の3か月平均気温は、秋としては1946年以降で最も高かった。

③ 中央シベリア北部～中部の高温（2～3、6～8月）

中央シベリア北部から中部では、2～3、6～8月に異常高温となった。中央シベリア東部のショロゴンツィでは2月の月平均気温が -28.6°C （平年差 $+7.7^{\circ}\text{C}$ ）、中央シベリア中部のボグチャヌイでは3月の月平均気温が -1.8°C （平年差 $+7.9^{\circ}\text{C}$ ）、中央シベリア北部のオレニョクでは6～8月の3か月平均気温が 15.8°C （平年差 $+3.7^{\circ}\text{C}$ ）だった。

ロシアの3月の月平均気温は、3月としては1891年以降で3番目に高かった（ロシア水文気象センター）。

④ 中国東部～タイ北部の大雨・台風（6～8月）

中国東部からタイ北部では、6～8月に大雨や台風第9号、第12号等により合計で240人以上が死亡したと伝えられた（中国政府、ベトナム政府、欧州委員会）。

⑤ 東アジア南部～東南アジア中部の高温（1～2、4～11月）

東アジア南部から東南アジア中部では、1～2、4～11月に異常高温となった。マレーシアのクアラルンプールでは1～2月の2か月平均気温が 28.4°C （平年差 $+1.3^{\circ}\text{C}$ ）、インドネシアのシボルガ（スマトラ島北西部）では4～6月の3か月平均気温が 27.3°C （平年差 $+0.8^{\circ}\text{C}$ ）、シンガポールでは7～9月の3か月平均気温が 29.0°C （平年差 $+1.2^{\circ}\text{C}$ ）、ラオスのビエンチャンでは10月の月平均気温が 29.0°C （平年差 $+1.9^{\circ}\text{C}$ ）、マレーシアのクチン（カリマンタン島北西部）では11月の月平均気温が 26.9°C （平年差 $+1.0^{\circ}\text{C}$ ）だった。

香港の6月の月平均気温は、6月としては1885年以降で3番目に高かった（香港天文台）。

シンガポールの9月の月平均気温は、9月としては1929年以降で最も高かった（シンガポール気象局）。

⑥ マレー半島中部～ジャワ島の少雨（6～7、9～11月）

マレー半島中部からジャワ島では、6～7、9～11月に異常少雨となった。インドネシアのスラン（ジャワ島西部）では6～7月の2か月降水量が24mm（平年比14%）、シンガポールでは7、9月の月降水量がそれぞれ12mm（平年比8%）、23mm（平年比14%）、インドネシアのパレンバン（スマトラ島南東部）では10月の月降水量が54mm（平年比27%）、マレーシア西部のムラカでは11月の月降水量が96mm（平年比41%）だった。

シンガポールの9月の月降水量は、9月としては1869年以降で最も少なかった（シンガポール気象局）。

⑦ インドネシア東部の大雨（3月）

インドネシア東部では、3月の大雨により200人以上が死亡したと伝えられた（EM-DAT）。

⑧ 南アジア及びその周辺の大雨（7～10月）

南アジア及びその周辺では、7～10月の大雨により合計で2300人以上が死亡したと伝えられた（インド政府、パキスタン政府、欧州委員会）。

インドの9月の月降水量は、9月としては1917年以降で2番目に多かった（インド気象局）。

⑨ インド南部～スリランカの高温（2～7、11月）

インド南部からスリランカでは、2～7、11月に異常高温となった。インド南部のティルバナタプーラムでは2～7月の6か月平均気温が29.6℃（平年差+1.5℃）、スリランカ南西部のコロンボでは7月の月平均気温が28.7℃（平年差+0.8℃）、スリランカ西部のプッタラムでは11月の月平均気温が27.9℃（平年差+1.0℃）だった。

⑩ 中東北部～インドの大雨（3～4月）

中東北部からインドでは、3～4月の大雨により合計で370人以上が死亡したと伝えられた（インド政府、パキスタン政府、欧州委員会）。

⑪ アラビア半島の高温（1、5～6、9～10月）

アラビア半島では、1、5～6、9～10月に異常高温となった。サウジアラビア西部のアブハーでは1月の月平均気温が16.1℃（平年差+2.9℃）、サウジアラビア西部のジッダでは5～6月の2か月平均気温が33.2℃（平年差+2.4℃）、サウジアラビア北部のラフハーでは9～10月の2か月平均気温が32.7℃（平年差+4.0℃）だった。

バーレーンの1月、10月の月平均気温は、それぞれの月としてはともに1902年以降で最も高かった（バーレーン気象局）。

⑫ ヨーロッパ南部及びその周辺の高温（6～11月）

ヨーロッパ南部及びその周辺では、6～11月に異常高温となった。イタリア北東部のトリエステでは6月の月平均気温が26.7℃（平年差+4.8℃）、フランス中部のクレルモンフェランでは7月の月平均気温が23.2℃（平年差+3.1℃）、スペインのマドリードでは7月の月平均気温が28.0℃（平年差+2.5℃）、ポーランドのワルシャワでは8月の月平均気温が21.2℃（平年差+2.9℃）、ギリシャ南西部のカラマタでは9月の月平均気温が24.9℃（平年差+2.0℃）、セルビアのベオグラードでは10月の月平均気温が16.0℃（平年差+3.1℃）、ブルガリアのソフィアでは11月の月平均気温が9.7℃（平年差+4.8℃）だった。

ドイツの6月の月平均気温は、6月としては1881年以降で最も高く、ドイツの

夏（6～8月）の3か月平均気温は、夏としては1881年以降で3番目に高かった（ドイツ気象局）。

フランスの夏（6～8月）の3か月平均気温は、夏としては1900年以降で3番目に高かった（フランス気象局）。

⑬ ヨーロッパ東部～中部の少雨（2、4、6～8月）

ヨーロッパ東部から中部では、2、4、6～8月に異常少雨となった。ウクライナ南西部のウジホロドでは2月の月降水量が11mm（平年比22%）、ポーランド西部のポズナニでは4月の月降水量が7mm（平年比22%）、ドイツ南東部のホーフでは6～8月の3か月降水量が100mm（平年比43%）だった。

⑭ ヨーロッパ北部～中部の熱波（6～7月）

ヨーロッパ北部から中部では、6～7月に熱波が発生した。フランスでは、6月24日～7月7日、7月21～27日の2回にわたって広域で熱波が発生し、合計で少なくとも1400人が死亡したと伝えられた（フランス政府）。

フランス南部のヴェラルグでは、6月28日に46.0℃の日最高気温を観測し、フランスの国内最高記録を更新した。フランスのパリでは、7月25日に42.6℃の日最高気温を観測し、同地点が観測を開始した1872年以降の最高記録を更新した（フランス気象局）。

ドイツ北西部のリンゲンでは、7月25日に42.6℃の日最高気温を観測し、ドイツの国内最高記録を更新した（ドイツ気象局）。

オランダ南部のギルゼ・レイエンでは、7月25日に40.7℃の日最高気温を観測し、オランダの国内最高記録を更新した（オランダ気象局）。

ベルギー北部のベガイネンデイクでは、7月25日に41.8℃の日最高気温を観測し、ベルギーの国内最高記録を更新した（ベルギー気象局）。

ルクセンブルク中部のスタンセルでは、7月25日に40.8℃の日最高気温を観測し、ルクセンブルクの国内最高記録を更新した（ルクセンブルク政府）。

イギリス南東部のケンブリッジでは、7月25日に38.7℃の日最高気温を観測し、イギリスの国内最高記録を更新した（イギリス気象局）。

⑮ スペイン及びその周辺の多雨（4、8～9、11月）

スペイン及びその周辺では、4、8～9、11月に異常多雨となった。スペイン南東部のムルシアでは4、9月の月降水量がそれぞれ123mm（平年比449%）、218mm（平年比566%）、スペインのマドリードでは8月の月降水量が58mm（平年比652%）、スペイン北部のオビエドでは11月の月降水量が358mm（平年比293%）だった。

スペイン南東部では、9月に洪水が発生した。同国として1879年以来最悪の洪水とみられ（スペイン気象局）、24億米ドルにのぼる経済被害が発生したと伝えられた（EM-DAT）。

⑯ 西アフリカ中部～西部の高温（7～9、11月）

西アフリカ中部から西部では7～9、11月に異常高温となった。トーゴ北部のサンサネマンゴでは7～9月の3か月平均気温が27.4℃（平年差+1.2℃）、セネガル南部のコルダでは7～9月の3か月平均気温が28.1℃（平年差+1.0℃）、マリ南西部のブグニでは11月の月平均気温が28.6℃（平年差+2.3℃）だった。

⑰ 東アフリカ北部～中部の大雨（10～11月）

東アフリカ北部から中部では、10～11月の大雨により、合計で300人以上が死亡したと伝えられた（ジブチ政府、国連人道問題調整事務所、欧州委員会）。

⑱ モーリシャス～南アフリカの高温（1～11月）

モーリシャスから南アフリカでは、1～11月に異常高温となった。モーリシャスのロドリゲス島では1～2月の2か月平均気温が28.0℃（平年差+1.2℃）、南アフリカ中部のキンバリーでは3、6月の月平均気温がそれぞれ24.9℃（平年差+3.2℃）、12.7℃（平年差+2.7℃）、トロムラン島では4月の月平均気温が28.8℃（平年差+1.2℃）、南アフリカ北西部のアピントンでは5月の月平均気温が20.9℃（平年差+4.3℃）、グロリュース諸島では7～11月の5か月平均気温が26.8℃（平年差+1.1℃）だった。

⑲ 東アフリカ南部のサイクロン（3～4月）

東アフリカ南部では、3月のサイクロン「IDAI」と、4月のサイクロン「KENNETH」により、合計で1000人以上が死亡したと伝えられた（欧州委員会）。

⑳ アラスカ及びその周辺の高温（2～3、6～7、9月）

アラスカ及びその周辺では、2～3、6～7、9月に異常高温となった。米国のアラスカ州バローでは2～3月の2か月平均気温が-14.7℃（平年差+10.6℃）、米国のアラスカ州アンカレジでは6～7月の2か月平均気温が17.2℃（平年差+3.3℃）、東シベリア東部のウランゲル島では6～7月の2か月平均気温が4.5℃（平年差+2.7℃）、米国のアラスカ州コールドベイでは9月の月平均気温が11.1℃（平年差+2.1℃）だった。

米国アラスカ州の3月、6月、7月の月平均気温は、それぞれの月としては1925年以降で1番目、2番目、1番目に高かった（米国海洋大気庁）。

㉑ カナダ南西部の少雨（3、5、11月）

カナダ南西部では、3、5、11月に異常少雨となった。カナダのブリティッシュコロンビア州サンドスピットでは3、5、11月の月降水量がそれぞれ34mm（平年比30%）、6mm（平年比11%）、98mm（平年比54%）だった。

㉒ 米国中西部～南東部の多雨（2、4～5、9～10月）

米国中西部から南東部では、2、4～5、9～10月に異常多雨となった。米国のウィスコンシン州グリーンベイでは2月の月降水量と9～10月の2か月降水量がそれぞれ79mm（平年比335%）、350mm（平年比258%）、ノースカロライナ州アシュビルでは4月の月降水量が228mm（平年比265%）、イリノイ州シカゴでは5月の月降水量が210mm（平年比226%）だった。

米国本土の冬（2018年12月～2019年2月）の3か月降水量は、冬としては1896年以降で最も多く、米国本土の2月と5月の月降水量は、それぞれの月としてはともに1895年以降で2番目に多かった。米国北部の9月の月降水量は、9月としては1895年以降で3番目に多かった（米国海洋大気庁）。

㉓ 米国東部～バハマのハリケーン（9月）

米国東部からバハマでは、9月のハリケーン「DORIAN」により70人以上が死亡したと伝えられた（米国政府、バハマ政府）。バハマでは34億米国ドルにのぼる経済被害が発生したと伝えられた（米州開発銀行）。

㉔ 米国東部～南米北西部の高温（2、5～11月）

米国東部から南米北西部では、2、5～11月に異常高温となった。米国のノースカロライナ州ハタラス岬では2月の月平均気温が14.0℃（平年差+5.6℃）、米国のテキサス州ブラウンズビルでは5～6月の2か月平均気温が29.8℃（平年差+1.9℃）、メキシコ中部のグアナフアトでは7～10月の4か月平均気温が21.5℃（平

年差+2.3℃)、米国のフロリダ州マイアミでは9～10月の2か月平均気温が29.1℃(平年差+1.8℃)、メキシコのメキシコシティでは11月の月平均気温が17.2℃(平年差+2.1℃)だった。

米国南東部の5月と10月の月平均気温は、それぞれの月としては1895年以降で2番目、3番目に高く、米国本土の9月の月平均気温は、9月としては1895年以降で2番目に高かった(米国海洋大気庁)。

㉔ ブラジル及びその周辺の高温(1～2、5～6、8～11月)

ブラジル及びその周辺では、1～2、5～6、8～11月に異常高温となった。ブラジル東部のボンジェズダラパでは1～2月の2か月平均気温が28.9℃(平年差+2.8℃)、ブラジル南東部のサンパウロでは5～6月の2か月平均気温が20.0℃(平年差+2.3℃)、ブラジル北部のイタイツーバでは8～9月の2か月平均気温が29.2℃(平年差+1.2℃)、アルゼンチン北東部のイグアスでは10～11月の2か月平均気温が25.2℃(平年差+2.3℃)だった。

㉕ アルゼンチン北東部及びその周辺の多雨(1、3、6月)

アルゼンチン北東部及びその周辺では、1、3、6月に異常多雨となった。アルゼンチン北東部のパソデロスリブレスでは1月の月降水量が622mm(平年比423%)、アルゼンチン北東部のポサダスでは3月の月降水量が382mm(平年比257%)、ウルグアイ西部のパイサンドゥでは6月の月降水量が297mm(平年比428%)だった。

㉖ オーストラリアの高温(1、3、7、9～11月)

オーストラリアでは、1、3、7、9～11月に異常高温となった。オーストラリア南東部のシドニーでは1、7、11月の月平均気温がそれぞれ26.0℃(平年差+3.1℃)、14.6℃(平年差+2.1℃)、22.0℃(平年差+2.2℃)、オーストラリア東部のティワンティンでは3月の月平均気温が25.6℃(平年差+1.9℃)、オーストラリア南部のユークラでは9～10月の2か月平均気温が18.4℃(平年差+2.5℃)だった。

オーストラリアの1月、3月、10月の月平均気温は、それぞれの月としては1910年以降で1番目、1番目、3番目に高かった。オーストラリアの夏(2018年12月～2019年2月)の3か月平均気温は、夏としては1911年以降で最も高く、オーストラリアの秋(3～5月)の3か月平均気温は、秋としては1910年以降で3番目に高かった(オーストラリア気象局)。

※世界の天候や異常気象に関する最新の情報は、気象庁ホームページでご覧になれます。

【世界の天候】

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/index.html>



【世界の天候】

【世界の異常気象】

https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/index.html



【世界の異常気象】